

市民からの意見・要望に対する鹿屋市議会としての回答

参加者の意見・要望	鹿屋市議会としての回答 (1回目)	鹿屋市議会としての回答 (2回目)
今回の議会報告会では、3月・6月定例会だけが報告されているが、直近の9月定例会の報告がないのはなぜか。 また、議会報告を説明するときは、ページを言って説明すべきではないか。	議会報告会の説明資料については、5月から議員自ら資料作成を行っており、できるだけ市民の皆様に分かりやすい内容となるよう作業を進めてきました。 特に重要なものなどについては、可能な限り直近のものを用意して、報告したいと考えています。 議会報告会の報告内容と説明の方法については、今後検討することとしました。	報告内容については、資料配付だけでなく、パワーポイントを用いた説明など、市民に分かりやすい内容とするため、事前準備等に時間を要し、直近の定例会の報告ができていませんでした。 今後は、必要に応じて直近の定例会で審議・審査した市民の関心が高いテーマについても報告を行うほか、議会報告会の進め方等も検討するなどして、分かりやすい説明に努めてまいります。
議会報告会では、一番新しいテーマを持って臨んでほしい。 (T P P、マイナンバー等)	議会報告会の報告内容については、今後検討することとしました。	
議会報告にある予算のグラフには民生費とあるが、人件費はどうなっているのか、以前は内訳があったと思うが。	議会報告会の説明資料の内容については、今後検討することとしました。	平成25年度に実施した議会報告会では、広報かのやの予算が掲載してあるページの写しを資料として配付しましたが、昨年度からは、より分かりやすい資料とするため、議会独自の資料を作成し配付しています。 今後は、人件費の額や割合等が分かる資料作成に取り組んでまいります。
請願・陳情・意見書等で否決されたのが載っていないのはなぜか。	議会報告会の説明資料の内容については、今後検討することとしました。	今年度の請願・陳情・意見書等の報告については、議決結果を詳細に掲載している「議会だより」を資料と併せて配付したため、否決されたものについては、議会報告会の資料の中に掲載しませんでした。 今後は、否決されたものについても、原則として掲載してまいります。

参加者の意見・要望	鹿屋市議会としての回答 (1回目)	鹿屋市議会としての回答 (2回目)
地元議員にも出席してほしい。要望もしにくい。昔の議員のように意見交換ができる議員であってほしい。	地元議員が出席すると、意見交換時に意見・要望が集中し、議会全体の報告会ではなくなる可能性があることから、実施要領において、出身地域の報告会への出席をしないこととしています。 議会報告会への地元議員の出席と、市民目線での議員活動・議会活動については、今後検討することとしました。	地元議員の出席については、これまで出身地域の出席を避けるものと取り決めていました。 しかしながら、これまで議会報告会を実施する中で、地元議員に出席してほしいというご意見を数多くいただいていることから、今後は地元議員が出席できるよう協議してまいります。
出席議員の個人的な考えをなぜ述べられないのか。その理由は。	議会報告会は、議員個人の考えを述べる場ではなく、議会全体で決定したことを報告する場であることから、実施要領において、個人的見解を控えることとしています。 個人的見解の取扱いについては、今後検討することとしました。	個人的見解の取扱いについては、1回目の回答のとおり控えることといたします。 ただし、個人的見解が発言できる場合の基準作りについて、今後、協議してまいります。
この報告会も変わり映えがしないし、参加者も少ない。報告の仕方をもっと工夫してくれないか。去年とそっくりのやり方である。もっと、市民目線で、市民の求める報告会にはできないのか。	議会報告会の報告内容については、今後検討することとしました。	議会報告会については、より市民の皆様が開かれたものとなるよう説明時間を短縮し、意見交換の時間を多くするなど、市民の皆様が求める報告会となるよう努めてまいります。 また、より多くの市民の皆様に参加していただけるよう広報周知や開催日時の見直しなどを行ってまいります。
報告会は3年目にしてマンネリ化している。平日19時では女性は来られない。土・日曜日の昼間の開催など考えられないか。	議会報告会の開催日や開催時間については、今後検討することとしました。	これまで平日の午後7時から実施していましたが、今後は土日に開催するなど、より多くの市民の皆様に参加していただけるよう協議してまいります。

参加者の意見・要望	鹿屋市議会としての回答 (1回目)	鹿屋市議会としての回答 (2回目)
議員報酬の在り方については、他の自治体と比較して多い。議員は選挙の時に主張したことを実行していない。きれいごとを並べても鹿屋市は良くならない。	今後検討することとしました。	検討した結果、ご意見として承りました。今後も市民の皆様の声を市政へ反映させるため、活動してまいります。
議会の報告は広報誌で十分であることから、議会報告会は必要ないのではないか。	今後検討することとしました。	議会報告会については、「市民に開かれた議会」また、「市民が参加できる議会」を実現させるため、今後も毎年開催してまいります。
独自のまちづくりに議会はどう取り組んでいるか。	今後検討することとしました。	これまでどおり、行政の提言機関としての役割を果たしてまいります。
地方の疲弊が進んでいる。議会として、ふるさと創生・地域経済策など、特別委員会など設置して取り組むべきではないか。	今後検討することとしました。	本市は、平成 27 年度に鹿屋市人口ビジョンや鹿屋市ひと・まち・しごと創生総合戦略を策定し、各種施策に取り組んでいます。 議会としましても、進捗や効果を毎年度検証するなど、地方創生の実現に向けて、調査・研究に努めてまいります。
政務活動費が少ないので思うような調査ができないのではないか。 活動を活性化するためには、他市と比較し少ないので、増額した方がよいのではないか。	今後検討することとしました。	政務活動費については、1 人当たり月額 2 万円を交付しています。 今後も、他市の状況や社会情勢等も踏まえながら、調査・研究に努めてまいります。